

これからの取組

- ✓ 今後、「三重県リニア基本戦略」が示す「めざす三重の姿」の実現に向け、行動計画となる「みえリニア戦略プラン（仮称）」の策定に着手し、具体的な施策や事業への展開を図ります。
- ✓ リニアとともに歩む本県の将来のイメージを県民の皆さんと共有できるよう、みえリニアポータルサイトでの発信やみえリニア応援クラブ会員との連携など、これまでの取組の充実を図りながら、新たな発信の場を広げていきます。



リニア中央新幹線 ©JR東海

入会金・年会費 無料

年齢制限なし

「みえリニア応援クラブ会員」募集中

リニア中央新幹線の県内駅位置の早期確定および、1日も早い全線開業と一緒に応援していただける方を募集しています。



みえリニアポータルサイト

三重県におけるリニア中央新幹線の情報を発信しています。

Vチューバーが紹介するリニア啓発動画をチェックして、リニアクイズにチャレンジしよう！

<https://www.kankomie.or.jp/special/linear-mie/>



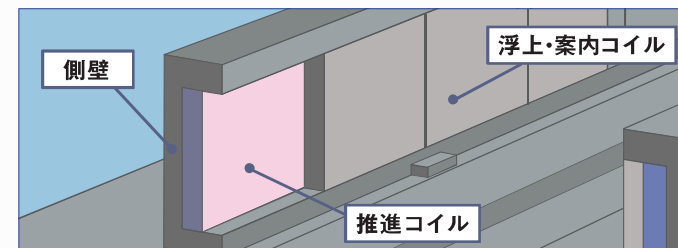
リニア中央新幹線のしくみ

超電導リニア（超電導磁気浮上式）による、世界最速の陸上交通です。

中央新幹線の走行方式として、整備計画において決定された超電導リニア（超電導磁気浮上式）は、車両に搭載した超電導磁石と地上に取り付けられたコイルとの間の磁力によって、浮上して走行する輸送システムです。2015（平成27）年4月には、鉄道の世界最高速度となる時速603kmを記録。航空機並みのスピードで多くの乗客を一度に輸送できる新しい高速輸送システムが日本の技術から生み出されました。

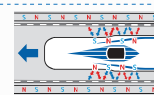
超電導とは

ある種の物質を一定温度以下としたとき、電気抵抗がゼロになる現象を超電導現象といいます。超電導状態となったコイル（超電導コイル）に一度電流を流すと、電気抵抗がないため電流はコイルの中を半永久的に流れ続け、強力な磁界を発生します。超電導リニアはこの超電導磁石を搭載し、ガイドウェイの側壁に取付けられた地上コイルとの間の磁力により浮上して走行します。



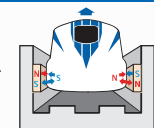
■「進む」原理

地上の推進コイルに電流を流すことにより磁界（N極、S極）が発生し、車両の超電導磁石との間で、N極とS極の引き合う力と、N極どうし・S極どうしの反発する力により車両が前進。



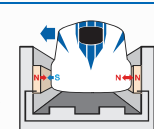
■「浮き上がる」原理

車両の超電導磁石が高速で通過すると、地上の浮上・案内コイルに電流が流れて電磁石となり、車両を押し上げる力（反発力）と引き上げる力（吸引力）が発生し浮上。



■「ぶつからない」原理

左右の浮上・案内コイルは、電線により結ばれ、車両が中心からどちらか一方にずれると、車両の遠ざかった側に吸引力、近づいた側に反発力が働き、車両を常に中央に戻します。



出典：リニア中央新幹線建設促進期成同盟会パンフレット

三重県リニア基本戦略（概略版） 令和6（2024）年3月

【お問い合わせ先】 三重県 地域連携・交通部 広域交通・リニア推進課

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

電話 059-224-2805 FAX 059-224-2219 E-mail kouikik@pref.mie.lg.jp

表紙デザイン：亀山高校システムメディア科生徒制作



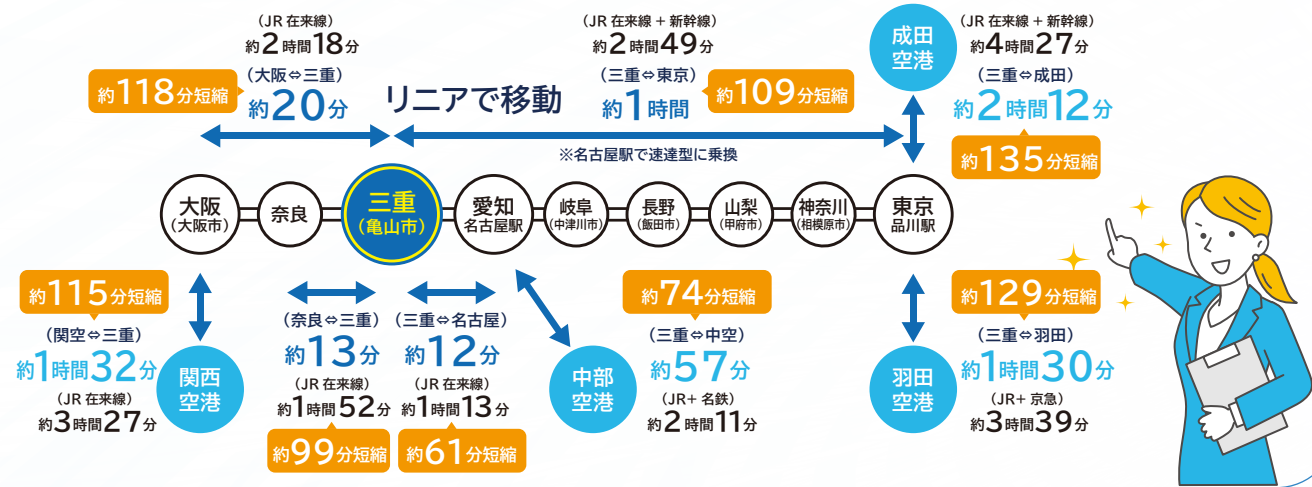
リニアとともに本県が歩む将来のビジョン

三重県リニア基本戦略（概要版）

リニア効果の発現を期待ではなく必然へ！！

リニア開業がもたらす効果

時速500kmのスピードで、東京と約1時間、大阪と約20分で結ばれ、国際空港とのアクセスも格段に向上します！



めざす三重の姿

(1) 新たな玄関口から始まるこれからの時代には選ばれる三重

新街道^{※1}で、三重での暮らしをより快適に、三重の魅力をもっと身近に便利に

圧倒的な移動時間の短縮と先進的な技術を組み合わせることにより、三重の豊かさと大都市圏の多様さを手に入れる

リニア時代の新たなライフスタイルを創出

都市部や近隣県との連携が進み、実用化が進む次世代交通に対応したリニア三重県駅と地域交通拠点^{※2}とが効率的に結ばれ、県内外の観光・ビジネス交流が飛躍的に発展

南北に連なる県内各地の豊かな魅力と新たな玄関口が繋がることで、癒しの空間「日本のサードプレイス」^{※3}として、

三重にしかない暮らしや、働き方、来訪スタイルを実現

※1 新街道…リニア三重県駅と地域交通拠点を次世代交通等で結ぶ新たな交通網。

※2 地域交通拠点…県内各地域の玄関口となる交通結節点で、地域の施設を結ぶ様々な交通手段の接続・乗継拠点。

※3 日本のサードプレイス…サードプレイスとは、自宅や職場以外の居心地のよい第三の居場所の意で、ここでは日本の中心に位置し、国内外からアクセスしやすく、三重が持つ歴史・文化、癒し・安らぎを体感できる快適な空間を示す。

(2) 選ばれる三重となるために

5つの戦略的視点

利便性向上

- 駅周辺エリアの計画的な機能配置と地域交通拠点の機能強化
- 既存の交通インフラの最大限活用、リニア駅と地域交通拠点を結ぶ次世代交通ネットワークの形成
- デジタルをはじめとする先端技術サービスの早期実装

魅力発信

- 美し国三重にしかない強みを生かした一体的なブランディング
- 訪れたいくなる駅の独自性や魅力にあふれた駅まちデザイン

東京・名古屋間、東京・大阪間の段階的な開業を見据えそれぞれのステージに対応した3つの基本戦略を策定

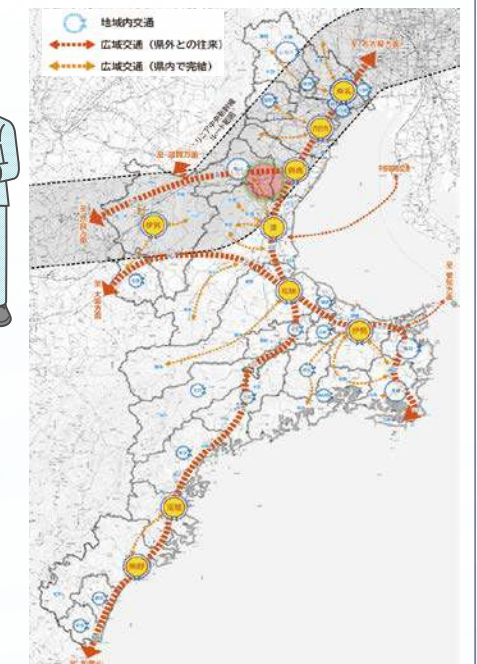
基本戦略を支える基盤づくり

(1) リニア三重県駅を核とした交通ネットワークの形成

POINT! 県内外への玄関口としての機能を高め、リニアがもつ速達性の効果を県内全域に広げます！

- ✓ 取組1 新たな玄関口としての駅前交通ターミナル整備
- ✓ 取組2 新たな玄関口とつながる道路ネットワークの整備
- ✓ 取組3 鉄道ネットワークの強化・充実
- ✓ 取組4 新たな二次交通ネットワークの形成

リニア三重県駅を核とした交通ネットワークイメージ



出典：三重県地域公共交通計画(R6.3)を一部加工

(2) リニア三重県駅を核としたまちづくり

POINT! 何度も訪れたいくなる独自性のある駅や魅力あふれる駅まち空間をデザインします！

- ✓ 三重県駅周辺の機能配置や、整備・運営手法、役割分担等の検討
- ✓ 隣接する地域を含めた広域のまちづくりの検討
- ✓ 災害時の支援拠点としての機能・役割を検討



国土交通省「交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン(R3.4)」



鉄道駅と空飛ぶクルマ等の交通結節点のイメージ © SkyDrive



© Heathrow Airports Limited

暮らし “いつでも” “どこでも” が可能に!

移動時間の短縮とデジタル技術の活用により、多様な暮らし方・働き方が選択可能となることで、県内における定住の促進、関係人口・交流人口の増加、県外からの移住の促進が期待されます。



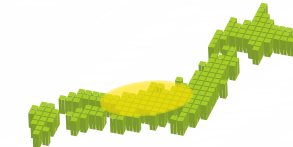
観光・交流 日本各地がより身近に!

三重でしか味わえない上質な体験コンテンツや三重の食や食文化を生かしたツーリズム(ガストロノミーツーリズム)を提供することで、旅行者の滞在の長期化や海外からの高付加価値旅行者の増加が期待されます。



産業・経済 首都圏・中部圏・近畿圏が一体化!

交流が活発になる環境や立地環境を向上させることで、ビジネス交流や販路の拡大、新たな産業・雇用の創出、若者・女性の定着が期待されます。



災害リスク 災害リスク分散で安全・安心!

鉄道・高速道路ネットワークとの連携によって日本の交通の要衝となり、大都市圏の中核機能のバックアップ拠点や災害時の復旧・復興にも大きな力となる可能性が期待されます。

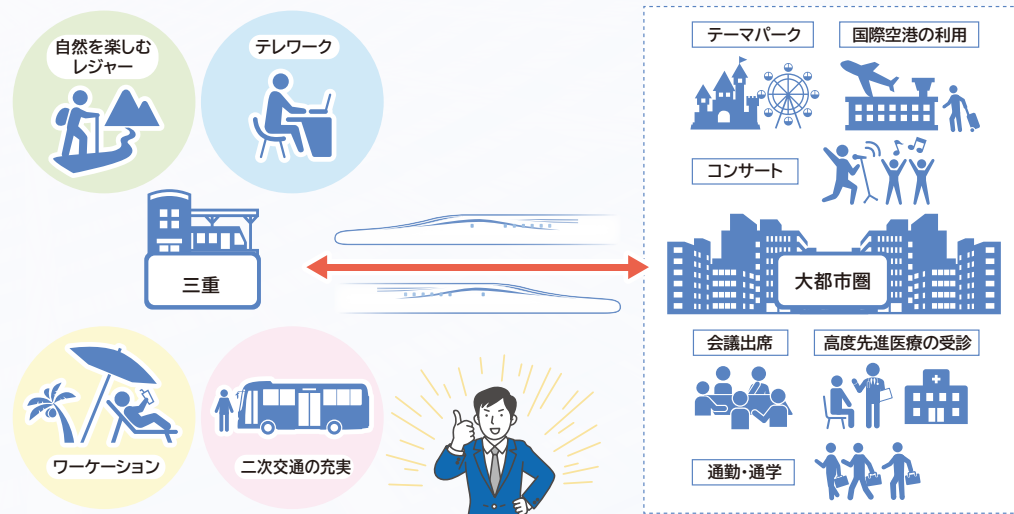
めざす三重の姿に向けた3つの基本戦略

戦略1 リニア時代の新たなライフスタイルの創出

POINT! 魅力ある三重での暮らしの選択肢を広げ、多様なニーズに応える新しいライフスタイルを発信します!

- 取組1 都市部の企業や大学への通勤・通学が選択可能な三重に
- 取組2 地域と多様な形で関わる人が増える三重に
- 取組3 県外からの移住希望者に選ばれるとともに定住が促進される三重に

新たなライフスタイルのイメージ



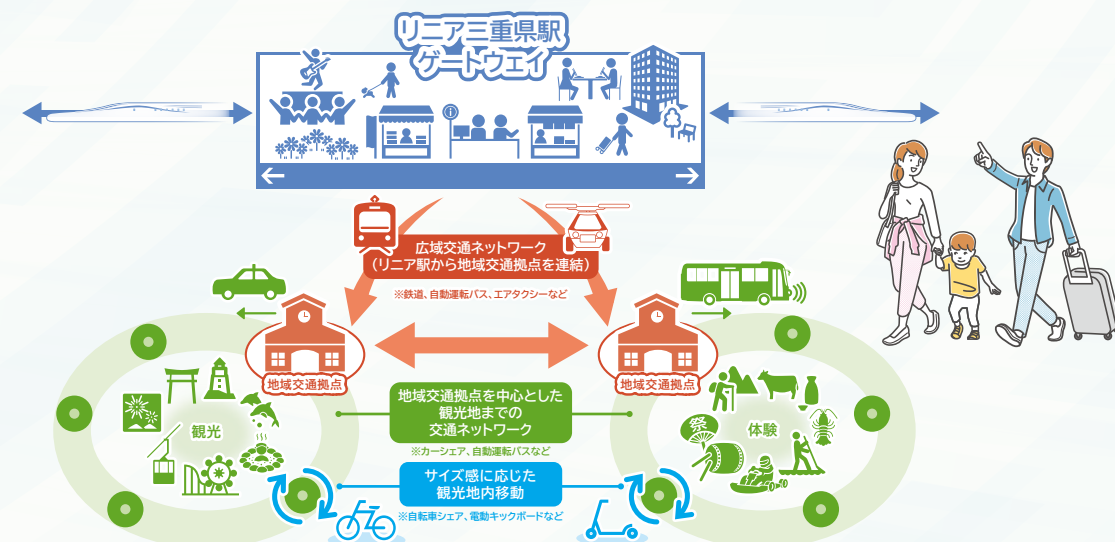
- 県内各地域交通拠点を核とした交通ネットワークの充実や先進技術の活用で日常生活が便利に。
- テレワークとリニアでの出張・通学の併用により、職業や進学の実現の幅が拡大。
- デジタル技術により大都市圏の機能を県内で利用できるとともに、リニアを活用してリアルな機能も享受。
- 県内各地の歴史・文化や自然を生かした、さまざまな体験や快適な空間、ワーケーション環境などを提供していくことで、国内外から多くの人々が訪れ、リピーターとなり、長期滞在や二地域居住・定住へ。

戦略2 新たな玄関口からはじまる観光交流の拡大

POINT! リニア三重県駅に交通拠点機能を配置し、国内外からのみえへの旅立ちをサポートします!

- 取組1 もっと身近に便利に旅を楽しめる三重に
- 取組2 リニア駅から魅力ある滞在型・周遊観光の旅を提供する美し国三重に

観光交流拡大のイメージ



- リニア駅構内や駅周辺で県内全域の観光案内、地域産品の物販、地域の食やものづくりを体験。
- リニア駅から地域交通拠点を経て目的地までストレスなくスムーズに移動。
- 熊野古道伊勢路や齋宮、忍者、海女など県内各地の歴史・文化や自然を生かした、魅力的な滞在型の観光コンテンツが提供され、県内での周遊や滞在型の観光が拡大。

癒しの空間 「日本のサードプレイス」 イメージ

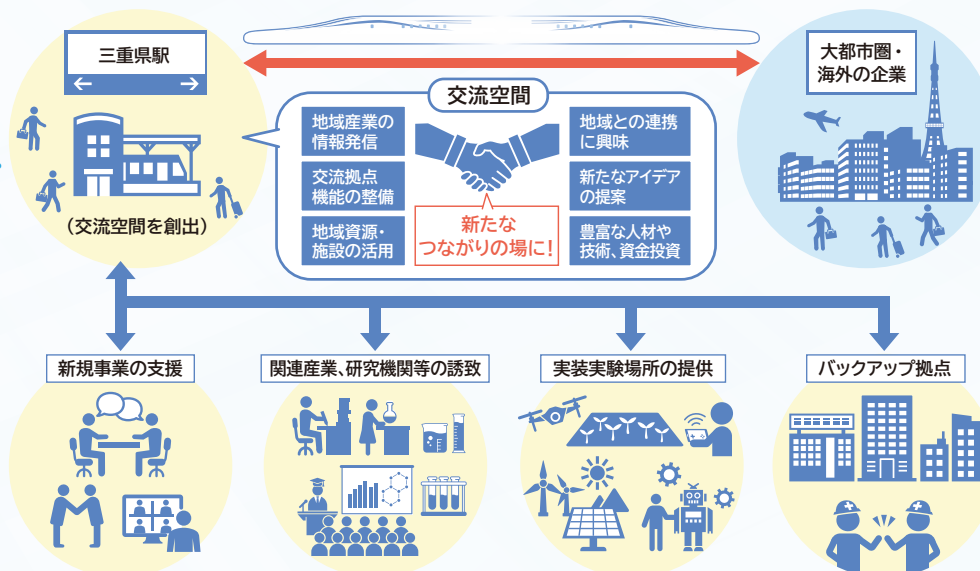


戦略3 新たな玄関口から生まれるビジネス交流の拡大

POINT! 移動時間の短縮とデジタル技術の融合により、クリエイティブな活動が活発になる環境をつくります!

- 取組1 クリエイティブな人材や企業をひきつける交流空間を創出する三重に
- 取組2 大都市圏の多様さと地域をつなげ新たな産業・雇用を創出する三重に
- 取組3 行政・企業・高等教育機関の機能移転やバックアップの拠点となる三重に

ビジネス交流拡大のイメージ



- 交流が活発になる環境を創出することで、新たなつながりが生まれ、活発なビジネス交流や販路が拡大。
- リニアと高速道路が連結強化され、人の流れと物流の相乗効果により、IT産業や、関連産業、研究機関等の誘致が進み雇用の場が創出。
- 実装実験場所を積極的に提供することで、例えば、スマート化による担い手確保や生産性向上を図り、農林水産業が持続可能な産業に。
- 高速交通ネットワークとの連携によって日本の交通の要衝となり、大都市圏の行政・企業・高等教育機関の中核機能移転やバックアップ拠点が形成。

